

農地意向アンケート調査の実施

市内全域（関市）

【地域の概要】

- 活動対象は関市全域とし、農地利用最適化推進委員の担当地区（25地区）ごとに、農地意向アンケート調査を実施することとした。
- 関市は、岐阜県のほぼ中央に位置し、総面積 47,233haの内、2,480ha（田 1,960ha、畑 521ha）が耕地である。農家戸数は、2560戸（主業農家 65戸、準主業農家 127戸、副業的農家 858戸、自給的農家 1,321戸）である。
- 関市における農業は、水稻・麦・大豆の土地利用型農業が盛んな地域であるが、園芸作物として関地区を中心に、円空さといも、いちご、夏秋なすが栽培され、また、市町村合併以前から各地域の特産物として、キウイフルーツ、ブルーベリー、つるむらさき、しいたけ、ゆずの産地強化が図られてきた特徴がある。

【取組内容】

関市農業委員会として、農地の利用集積の促進のため、農地意向アンケート調査を行うことを決定した。

①アンケート調査対象の検討

当初は、全農地所有者を対象とすることも検討されたが、貸したい希望に対し、受け手がなければ集積に繋がらないため、借り手となる担い手等がいる地域を優先に調査することとした。また、現在の水田耕作者が、今後耕作を継続できるかが重要であるとの判断から、水稻共済加入者を対象とした。

②担い手等の調査の実施

農地利用最適化推進委員の担当地区内で、地域農業の担い手、今後担い手となりそうな方を調査し、15地区から報告があり、担い手及び候補者数は91人、2組織であった。

③担い手等の耕作状況の把握

担い手等の報告があった地区について、担い手等の耕作状況を把握しやすくするため、担い手等の耕作地を地図化した。

④アンケート調査対象地区及び調査表の内容の検討

地区の農業委員、推進委員、JA支店長、農事改良組合支部長、担い手農家らと、アンケート調査対象地区と調査表の内容についての検討を行った。

⑤アンケート調査表の発送、回収

調査対象が決定した地区から、アンケートの発送及び回収を行った。

【実施地区】

- ・ 関地区（吉田地区） 対象戸数 114戸、回収戸数 57戸（回収率 50.0%）
- ・ 富野地区（集落営農組織の小野、八神、上大野を除く） 対象戸数 221戸、回収戸数 128戸（回収率 57.9%）
- ・ 田原地区（全地区） 対象戸数 248戸、回収戸数 136戸（回収率 54.8%）
- ・ 倉知地区（全地区） 対象戸数 140戸、回収戸数 112戸（回収率 80.0%）
- ・ 下有知地区（全地区） 対象戸数 159戸、回収戸数 85戸（回収率 53.5%）
- ・ 上之保地区（鳥屋市） 対象戸数 267戸、回収戸数 177戸（回収率 66.3%）

【今後の展開と方向性】

- ・ アンケートを回収している地区は、調査結果を整理し、農業委員、推進委員と連携して座談会の開催などを計画したい。また、貸したいと希望する方の農地を、地域の担い手等と情報共有し、担い手への集積を進めていくとともに、規模拡大が可能な個人農家を組織化に向けて誘導したい。

